



IIXIL リラックスベンチ 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

▲注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲警告



●窓に隣接して設置する場合はFIX窓にしてください。転落事故が発生するおそれがあります。

▲注意



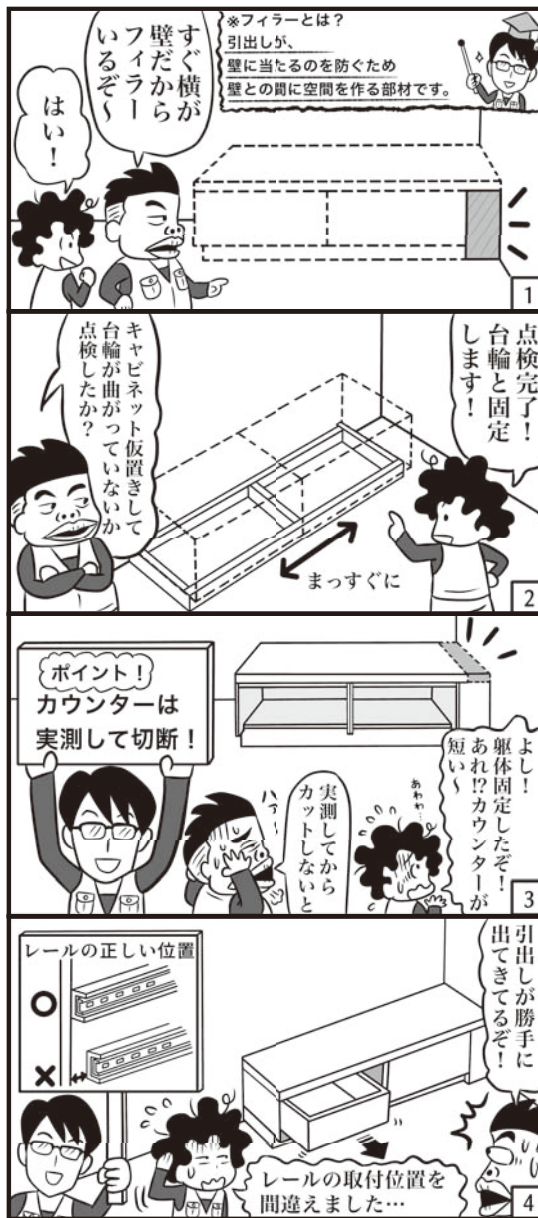
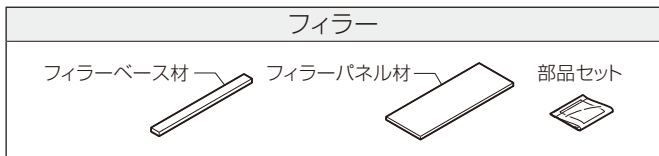
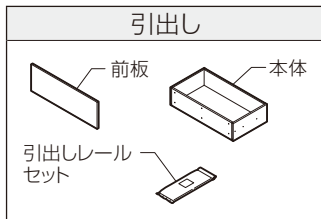
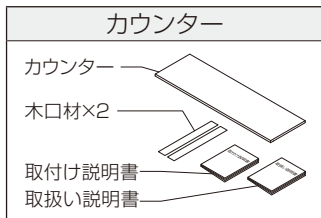
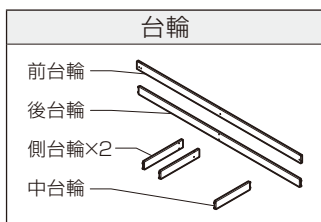
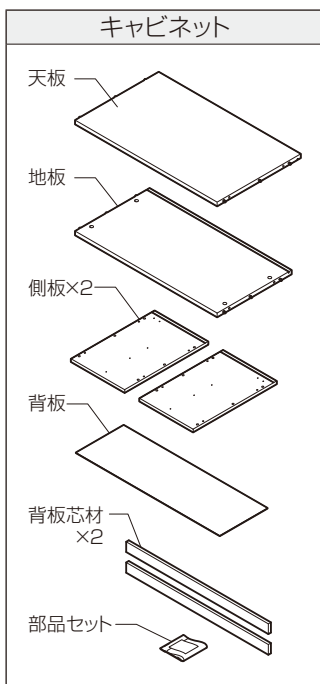
●下記条件を守って施工してください。使用者が転倒してケガをするおそれがあります。

- ・指定の位置に、厚さ30mm×90mm以上の硬木の棧木を必ず取付けてください。
- ・タイルやエコカラットなど割れやすい壁仕上げ材には取付けしないでください。
- ・安定した平らな床面に取付けてください。(NG:畳・じゅうたん・クッションフロア・クッション付き直張り防音床など)

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	側面壁納まりの場合、フィラーを取付けましたか？	<input type="checkbox"/>
2	台輪とキャビネットは正しく連結しましたか？	<input type="checkbox"/>
3	キャビネットは躯体に固定しましたか？	<input type="checkbox"/>
4	カウンターは実測して切断しましたか？	<input type="checkbox"/>
5	引出しレールは正しい位置に取付けましたか？	<input type="checkbox"/>

■部品・部材の明細



このマンガはフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。

■リラックスベンチ部品セット

■キャビネット・台輪・カウンター用部品セット

部品名	数量
三面金具L	1
三面金具R	1
側板用頭塗装ねじ皿タッピンφ4×14	4
躯体固定ねじ φ4.5×63	4
躯体固定用φ4.5ワッシャー	4
組立用ジョイント金具(天地板用)	8
組立用ジョイント金具キャップ	8
組立用ジョイントボルト	8
接着剤	2
キャビネット連結ねじφ4×28	2
台輪・カウンター固定用ねじ 皿タッピンねじφ4×35	10
台輪・カウンター固定用 φ4ワッシャー	10
ねじ・ワッシャー用キャップ	16

■引出しレールセット

部品名	数量
前板取付けねじ バインドタッピンねじφ4×25	6
引出しレール	2
キャビネット側レール取付けねじ 皿タッピンねじφ4×14	6
引出し本体側レール取付けねじ 皿タッピンねじφ3.5×10	6
クリアバンポン	2

■フィラー材部品セット

部品名	数量
ねじキャップ	4
フィラーベース固定用ねじφ4×28	4

■設置箇所の作り方

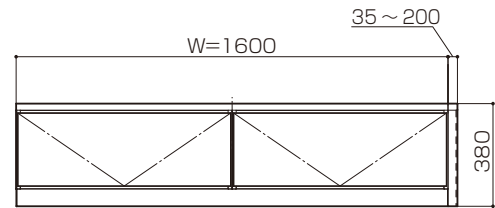
▲注意



●必ず栈木を取付けてください。使用者が転倒してケガをするおそれがあります。

設置箇所作り方上のおお願い

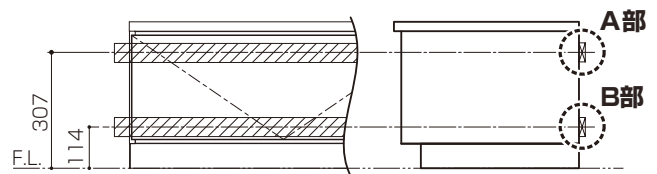
- 引出しの開閉不良となるため、側面が壁に隣接する場合は下記条件を守ってください。
 - ・キャビネットと壁のすき間を35~200mmにしてください。
 - ・オプションのフィラーをお使いください。



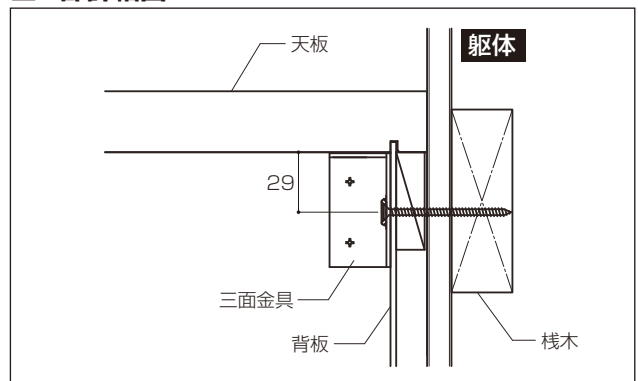
■栈木の取付け

- ①所定の壁面(躯体)に栈木を取付けてください。
※栈木は厚さ30mm×90mm以上の硬木を使用してください。

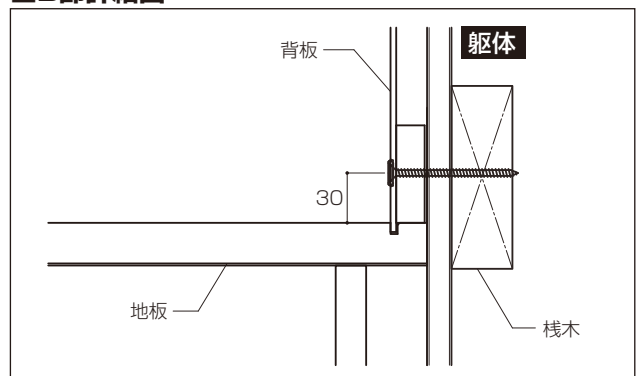
●栈木の取付位置



■A部詳細図



■B部詳細図



【キャビネット側面が壁に隣接する場合】

■現場受棧の取付け

① 棧木の取付け

- ・ 所定の壁面(躯体)に棧木を取付けてください。
- ※ 棧木は厚さ30mm×90mm以上の硬木を使用してください。

② 開口部の確認

- ・ キャビネットと壁のすき間を35~200mmにしてください。

③ 横受棧の取付け

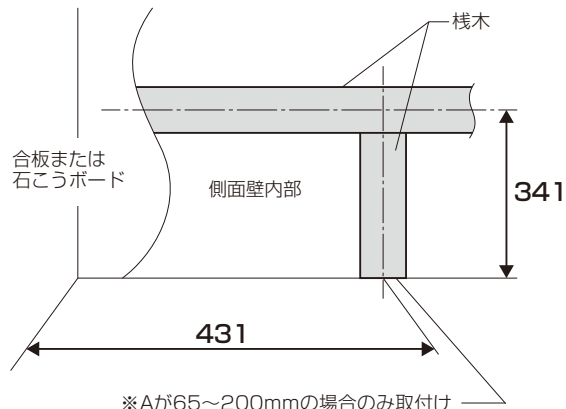
- ・ 30×30mm以上長さ370mm※を壁面にねじ※で取付けます。

④ 縦受棧の取付け

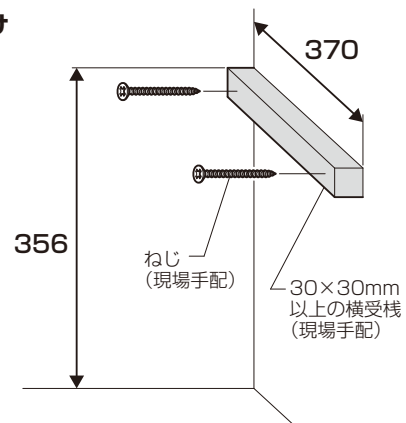
- ・ 30×30mm以上長さ356mm※を壁面にねじ※で取付けます。

※現場手配

① 棧木の取付け



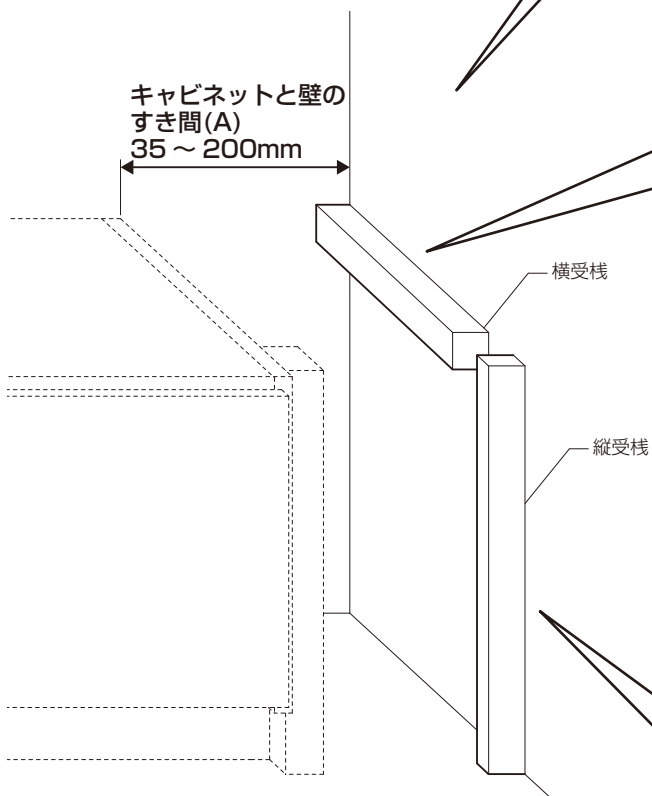
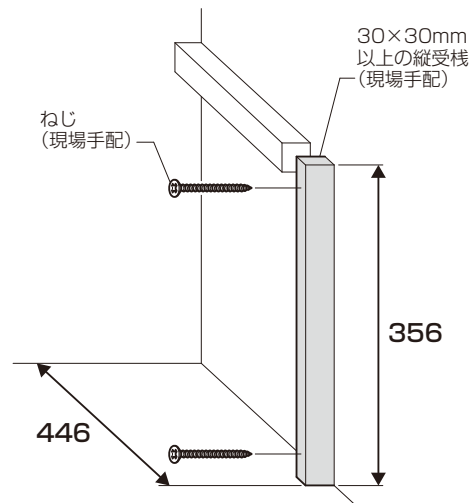
③ 横受棧の取付け



※Aが65~200mmの場合のみ実施

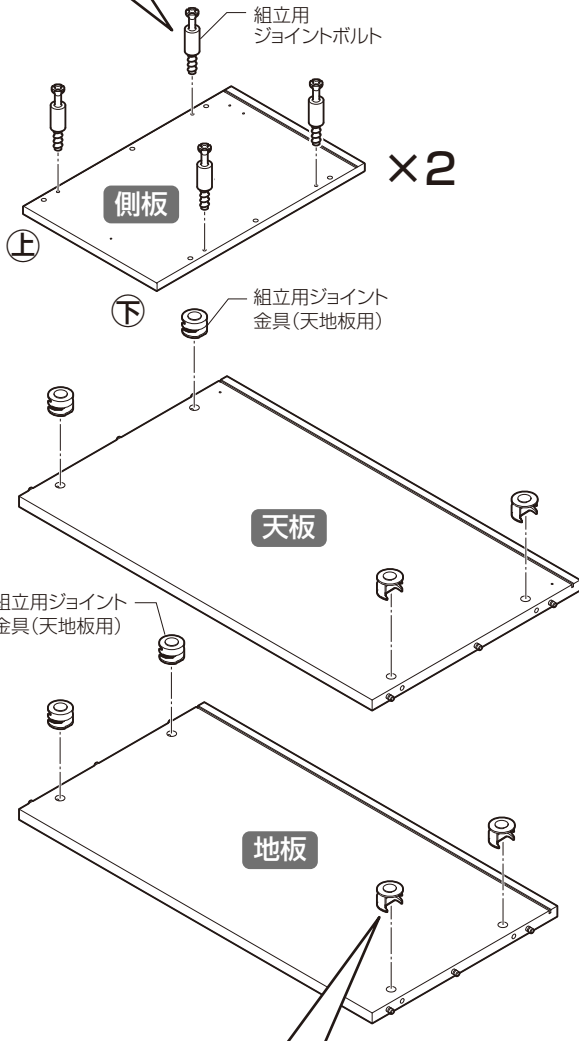
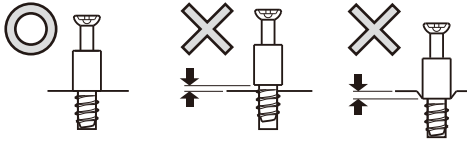
④ 縦受棧の取付け

【フィラー納まり部詳細図 65~200mm】

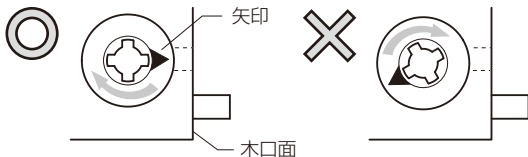


1 キャビネットの組立て準備

●組立用ジョイントボルトの取付け



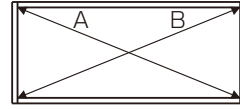
●組立用ジョイント金具の取付け 金具の向きにご注意ください。



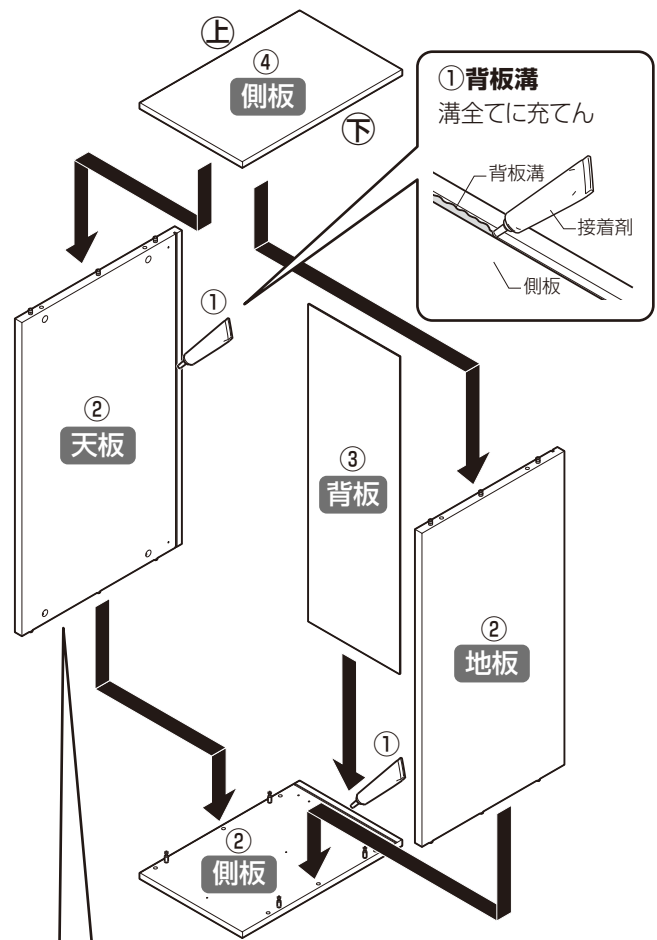
2 キャビネットの組立て

キャビネット組立て後のお願い

- 取付け不良となるため、接着剤硬化前に対角寸法を等しい状態にしてください。

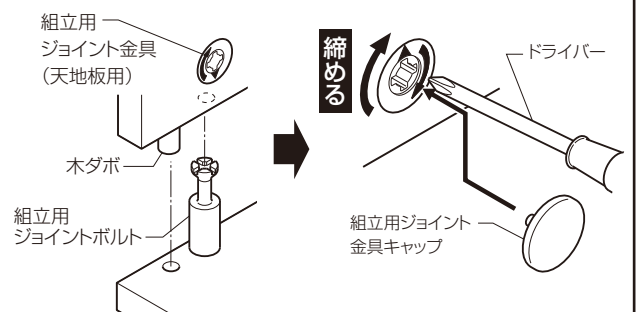


- ①各部材の背板溝に接着剤を充てんします。
- ②天地板を一方の側板とジョイント金具で固定します。
- ③背板をはめ込みます。
- ④もう一方の側板を天地板とジョイント金具で固定します。



※この向きで組立てると作業がしやすいです。

②・④ジョイント金具の固定



3 金具と背板芯材の取付け

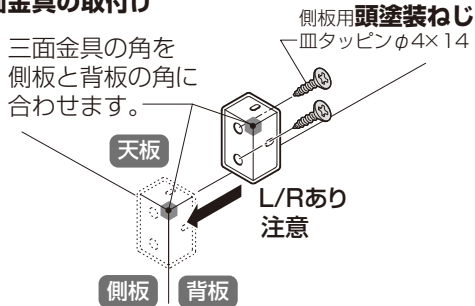
背板芯材取付け上のお願ひ

●取付け不良となるため、背板芯材に接着剤を塗布してください。

- ①三面金具を側板に取付けます。
- ②背板芯材を図の通りに接着剤と両面テープで取付けます。

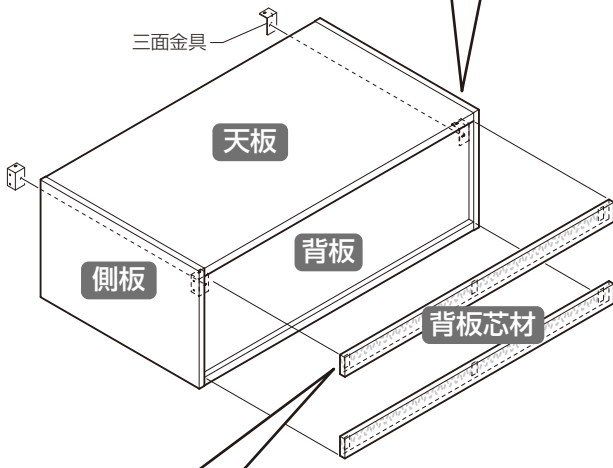
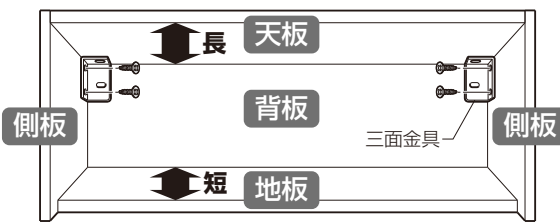
①三面金具の取付け

三面金具の角を側板と背板の角に合わせます。

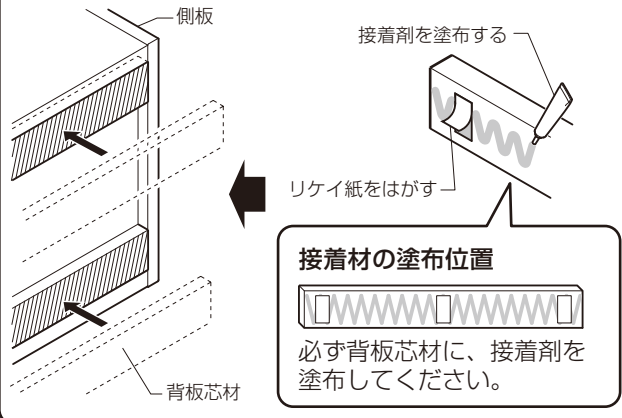


お願ひ

※必ず側板の天板側に三面金具を取付けてください。



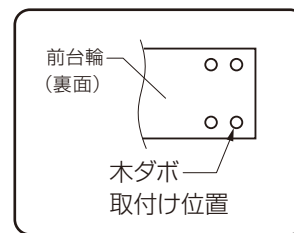
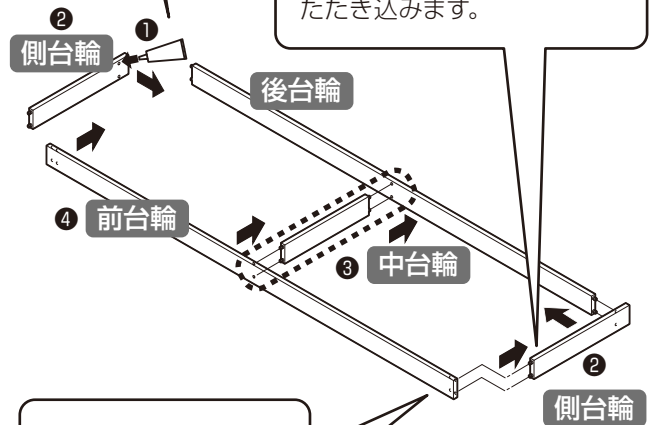
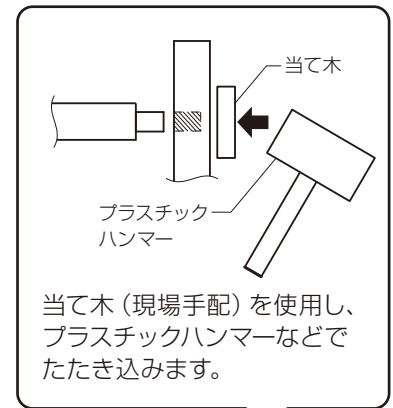
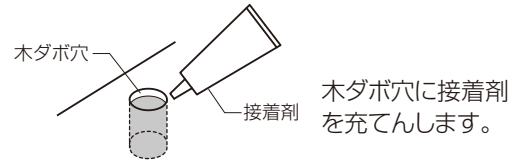
②背板芯材の取付け(キャビネット裏面)



4 台輪の組立て

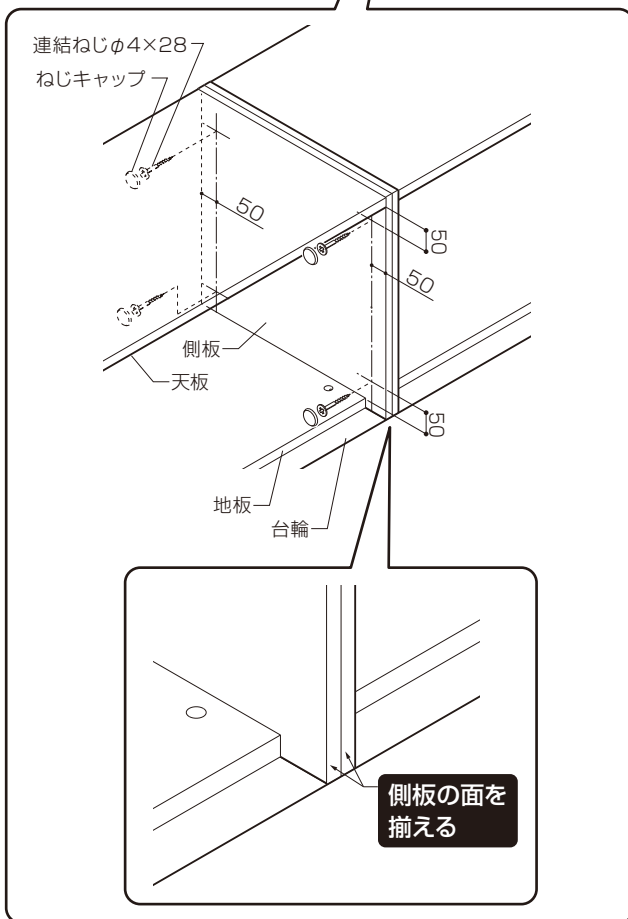
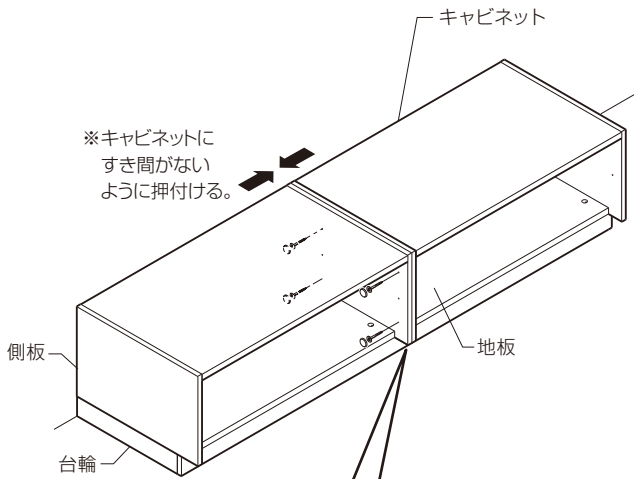
- ①各部材の木ダボ穴に接着剤を充てんします。
- ②各部材を図の通りに組み立てます。

●接着剤の充てん



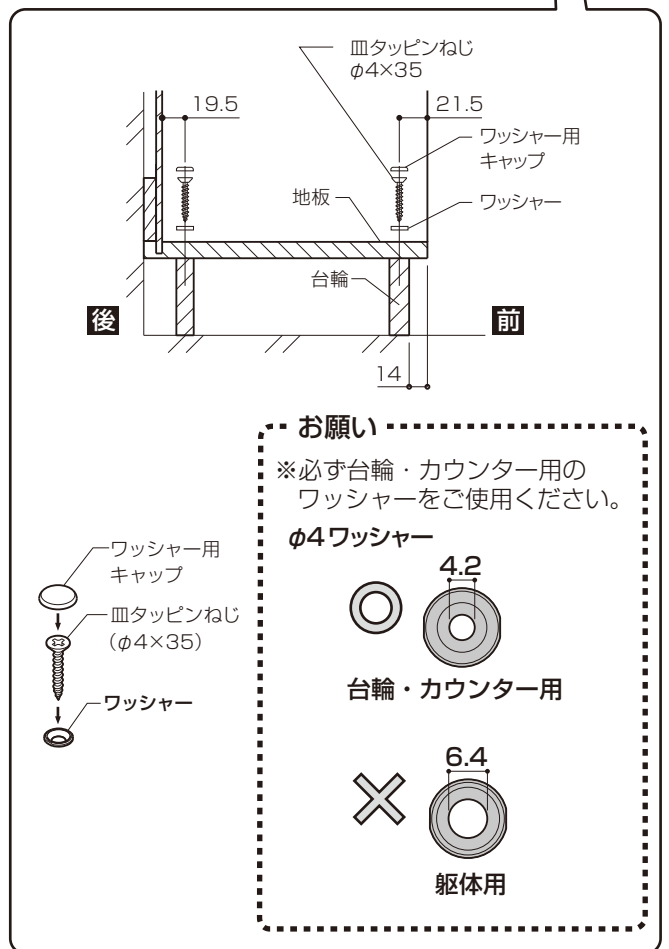
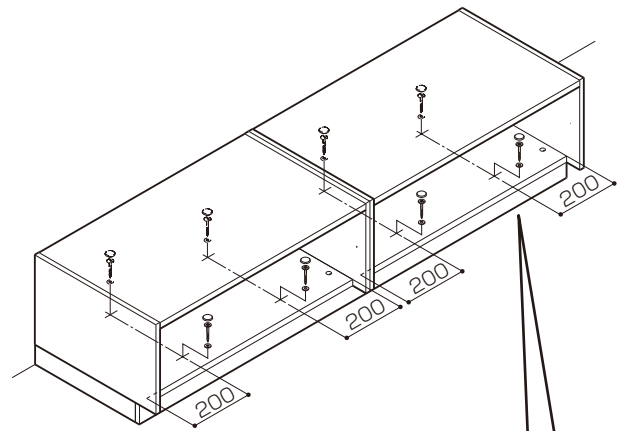
5 キャビネットの左右連結

- ①台輪を壁に押し付けて設置してください。
- ②台輪の上にキャビネットを並べて指定の位置で連結します。



6 台輪とキャビネットの固定

- ①キャビネットを図の位置で同梱のねじで固定します。



7 壁面への固定

▲ 注意



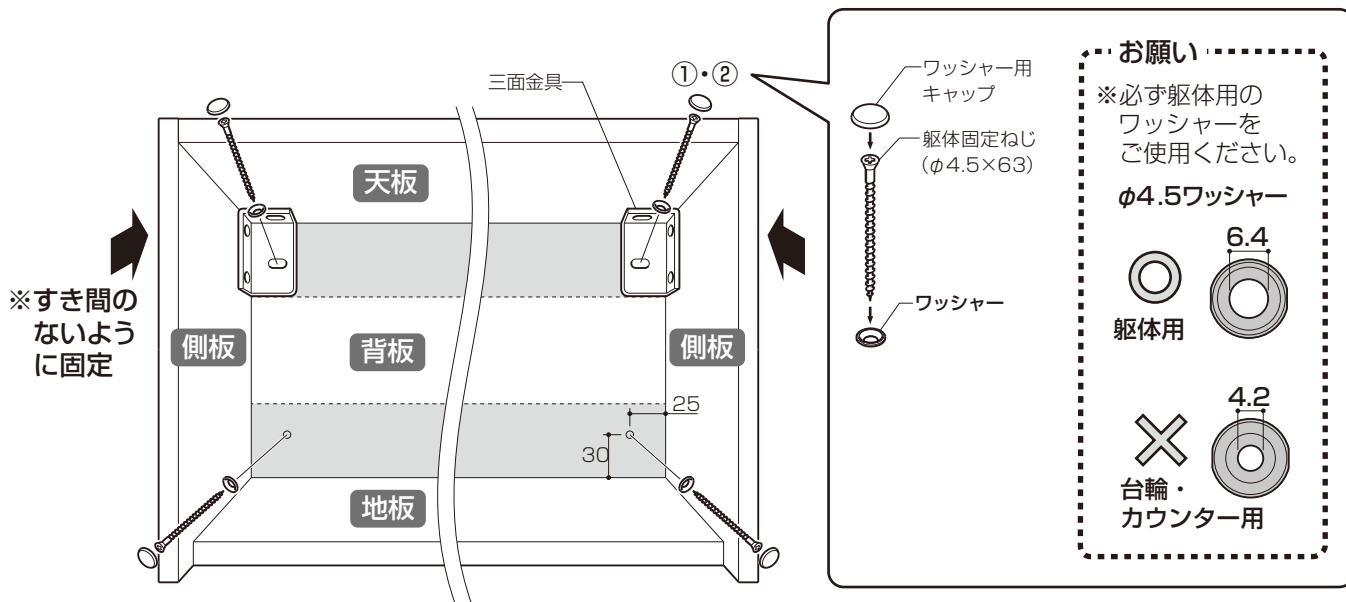
- 下記条件を守って施工してください。使用者が転倒してケガをするおそれがあります。
- ・ 指定の位置に、厚さ30mm×90mm以上の硬木の栈木を必ず取付けてください。
- ・ タイルやエコカラットなど割れやすい壁仕上げ材には取付けないでください。
- ・ 安定した平らな床面に取付けてください。(NG: 畳・じゅうたん・クッションフロア・クッション付き直張り防音床など)

壁面への固定上のお願

- 引出しの開閉不良となるため、水平・垂直を守って固定してください。

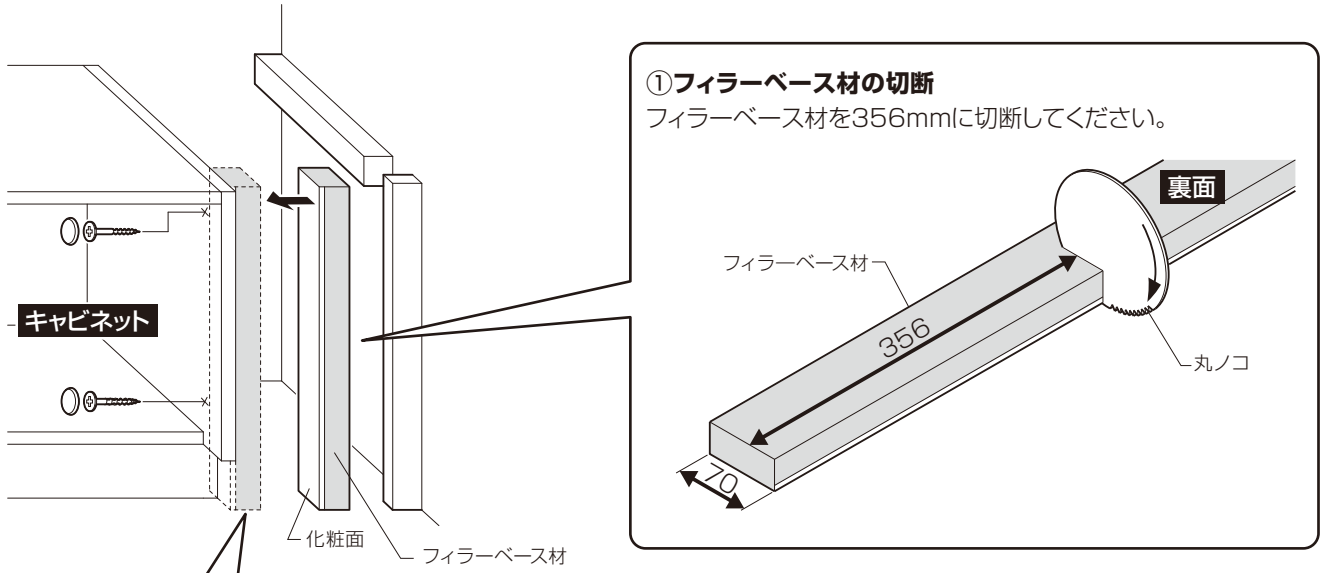
■ 壁面固定位置(正面図)

- ① 指定の位置に下穴をあけてください。
- ② 壁面に同梱のねじで固定します。



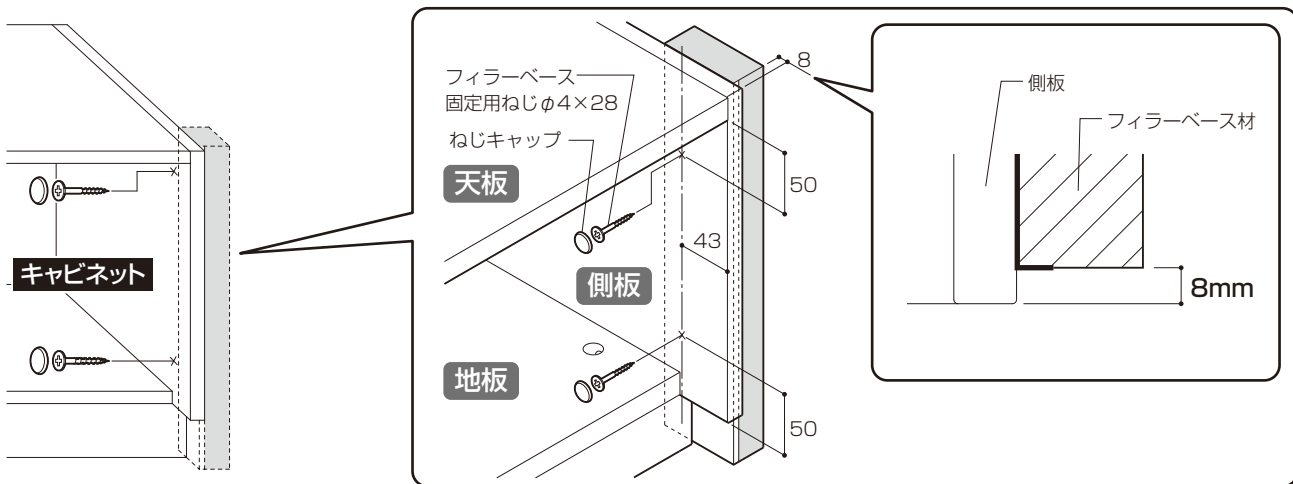
8 フィラーベース材の切断・取付け【キャビネット側面が壁に隣接する場合】

- ① フィラーベース材を356mmに切断してください。
- ② 側板とフィラーベース材にキャビネット内部から下穴（ $\Phi 3 \times$ 深さ20mm）をあけてください。
- ③ フィラーベース材をキャビネット側板の指定の位置に固定します。



②・③ フィラーベース材の取付け

化粧面をキャビネット側に向けて取付けてください。

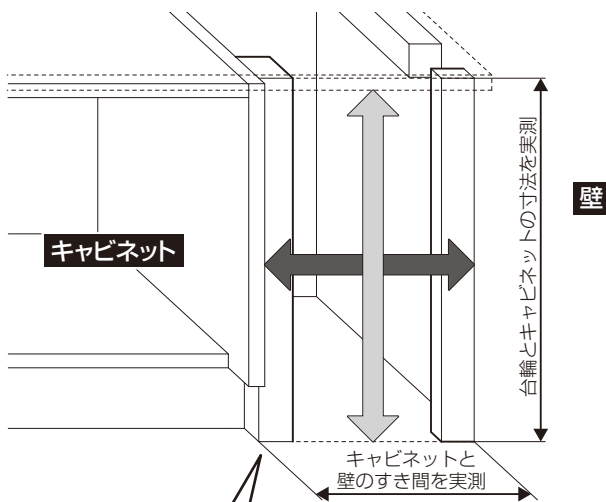


9 フィラーパネル材の切断・取付け【キャビネット側面が壁に隣接する場合】

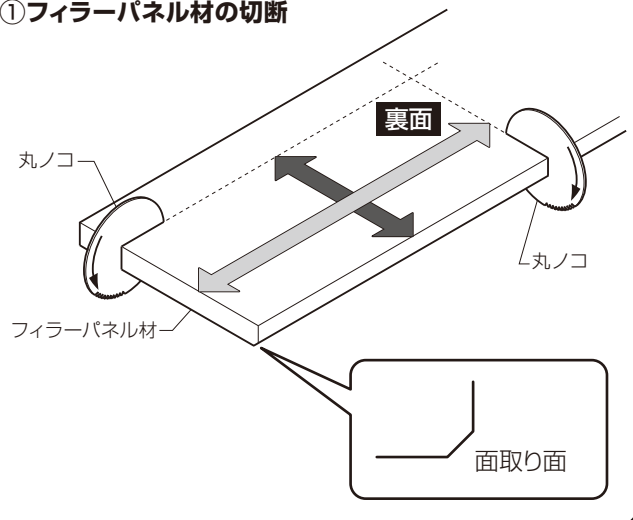
フィラーパネル材切断・取付け上のお願

●外観不良となるため、キャビネットと壁のすき間を実測して切断してください。

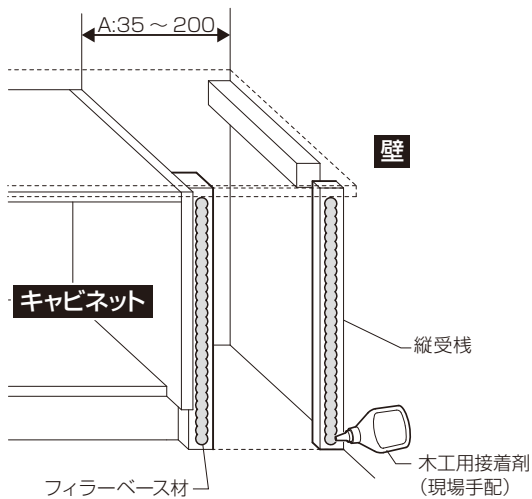
- ① フィラーパネル材を実測寸法で切断してください。
- ② フィラーベース材と縦受棧※に木工用接着剤(現場手配)を塗布します。
- ※A: キャビネットと壁のすき間が65~200mmの場合のみ
- ③ フィラーパネル材をかくし釘(現場手配)で取付けます。



① フィラーパネル材の切断

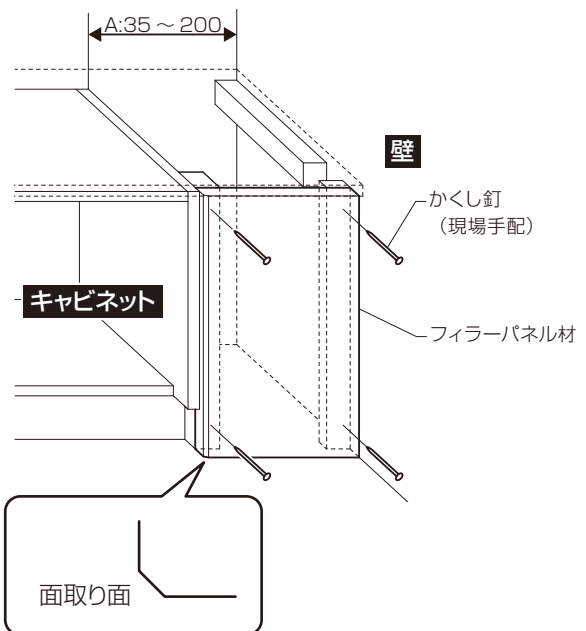


② 接着剤の塗布



※縦受棧への接着剤の塗布はA:65~200mmの場合のみ

③ フィラーパネル材の取付け



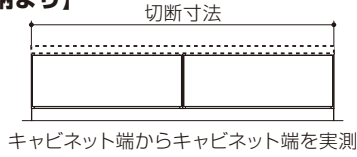
※縦受棧への取付けはA:65~200mmの場合のみ
 ※既設で幅木が装着されている場合は、幅木を除去するか幅木逃げ加工が必要です。

④カウンターの取付け

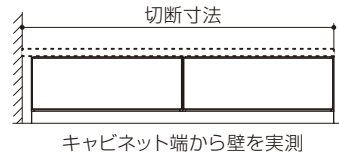
カウンター取付け上のお願ひ

●外観不良となるため、必要寸法を実測して切断してください。

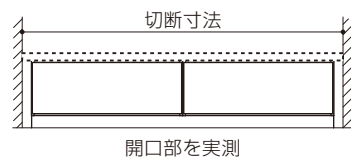
【両側オープン納まり】



【片側壁納まり】



【両側壁納まり】



●カウンターの切断

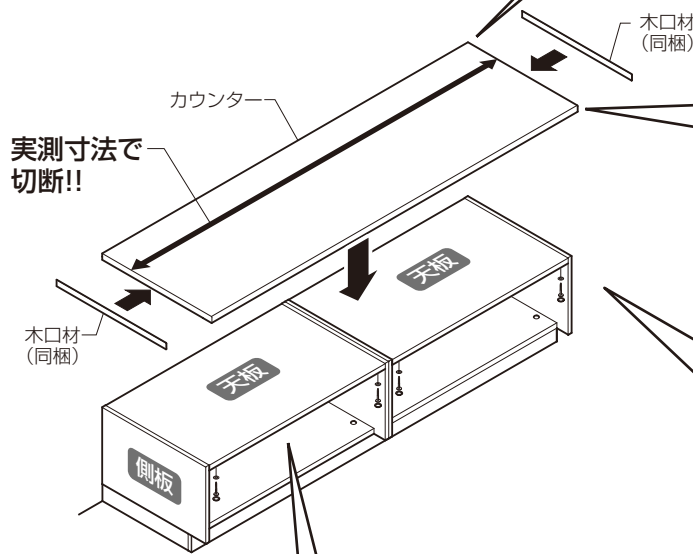
①左図の通り必要寸法を実測してカウンターを切断してください。

●木口材の貼付け(カウンター木口面が見える場合)

②木口材を木口形状に合わせてラフカットしてください。
③カウンター、木口材両方の全面にポリネートチューブを塗布し貼付けます。
④カウンター木口形状に合わせて仕上げてください。

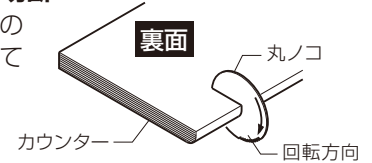
●カウンターとキャビネットの連結

⑤天板にキャビネット内部から下穴加工(φ3×深さ30mm)をしてください。
⑥フィラー材、受棧の上面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
⑦カウンターとキャビネットを同梱のねじで連結します。

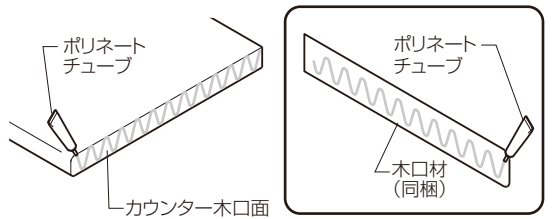


①カウンターの切断

※丸ノコの刃物の向きに注意してください。



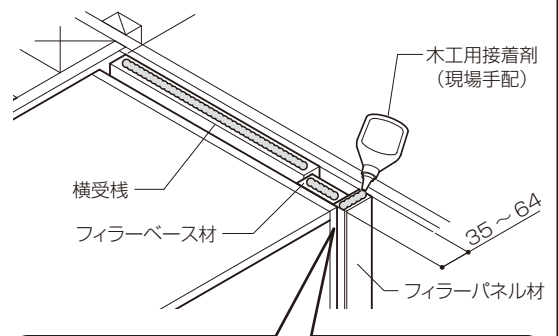
③木口材の貼付け



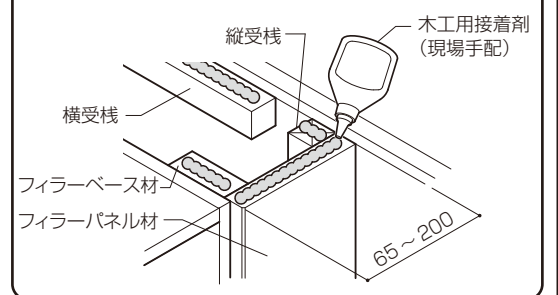
※カウンター木口が見える場合のみ

⑥接着剤の塗布(側面が壁に隣接する場合のみ)

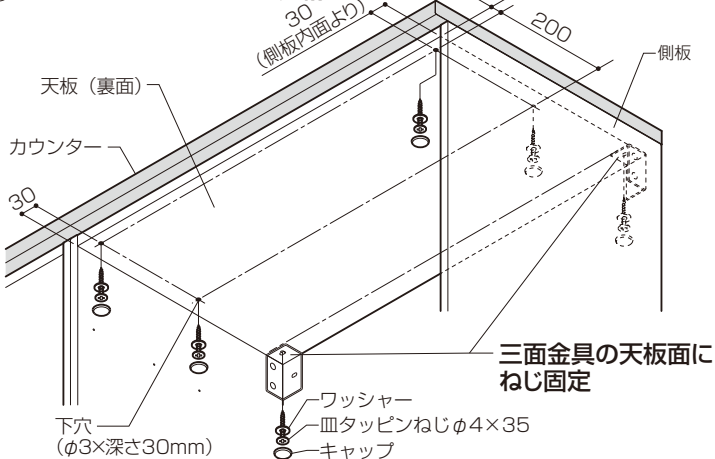
●キャビネットと壁のすき間：35～64mm



●キャビネットと壁のすき間：65～200mm



⑦カウンターとキャビネットの連結



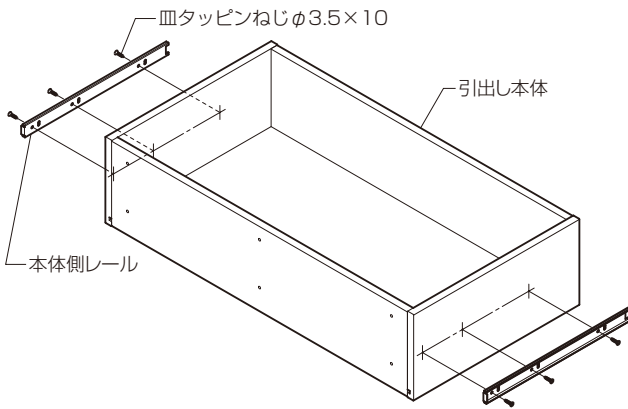
引出しレールの取付け

引出しレール取付け上のお願い

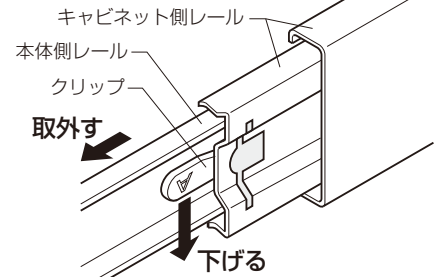
●ねじが空回りするため、クラッチ付きドライバーで固定してください。

- ①引出しレールをキャビネット側と引出し本体側に分離してください。
- ※引出しレールは製品に同梱しています。(レールにL/Rはありません)
- ②引出し本体に引出し本体側レールをねじで固定します。
- ③キャビネット側レールの取付け穴が見えるようにレールを引出してください。
- ④キャビネットにキャビネット側レールをねじで固定します。

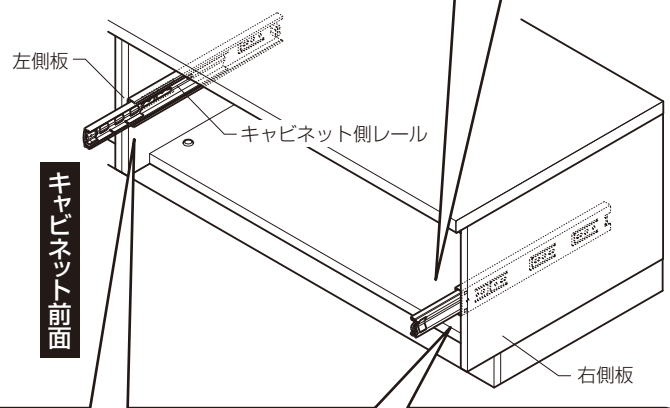
②引出し本体側レール取付け



①本体側レールの取外し



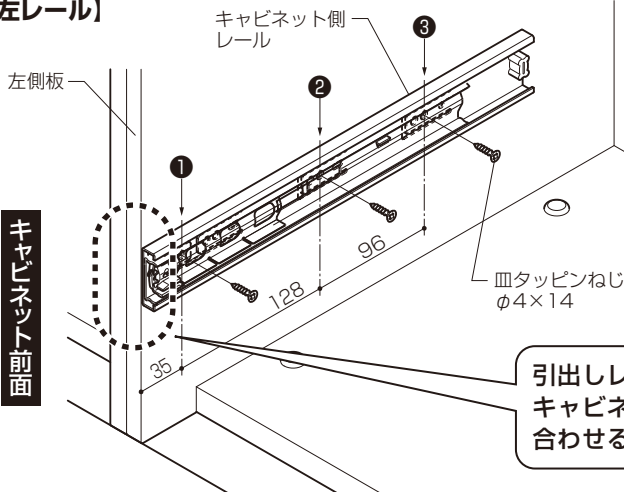
※レールにL/Rはありません



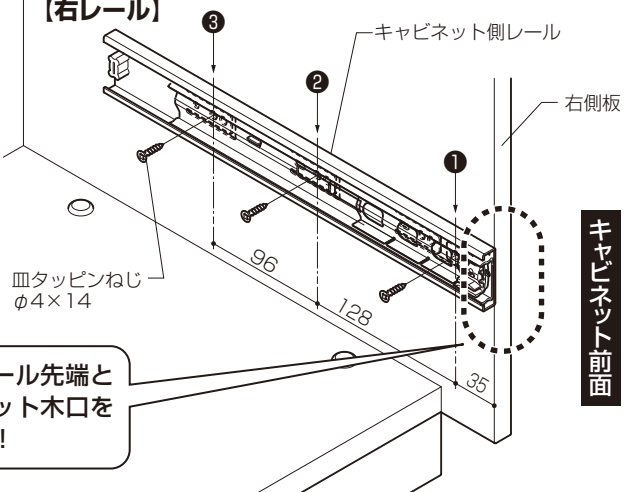
③・④キャビネット側レールの取付け

側板の加工穴を狙ってねじ固定してください。

【左レール】



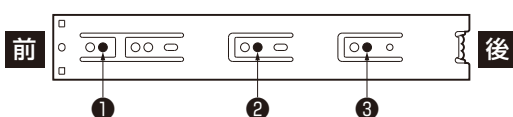
【右レール】



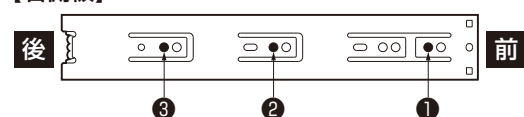
引出しレール先端とキャビネット木口を合わせる！

●キャビネット側レール取付け穴

【左側板】



【右側板】



⑫引出し前板の取付け

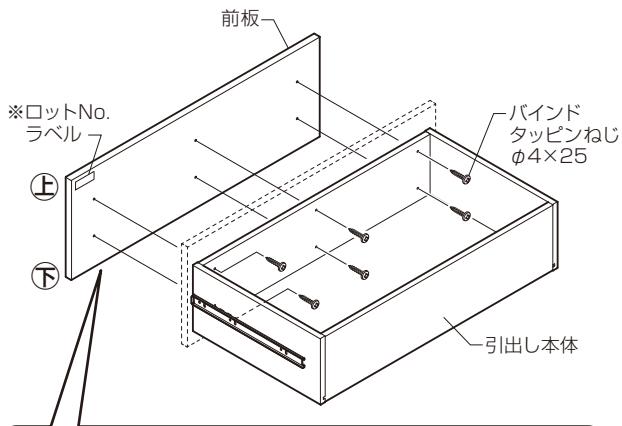
引出し前板取付け上のお願ひ

- 引出し本体がへこむため、クラッチ付きドライバーで固定してください。
- クリアバンポンが剥がれるため、貼付け面のホコリ・汚れ・油分を取り除いてください。

①引出し前板を左右位置を均等にして内側から同梱のねじで固定します。

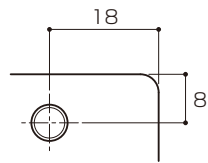
※ロットNoラベルが貼ってある側が上です。

②クリアバンポンを指定の位置に貼付けてください。

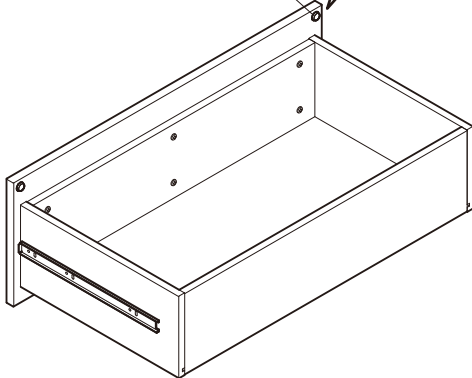


クリアバンポンのリケイ紙をはがして、引出し前板上部両端の天板に当たる位置に貼付けてください。

●貼付け位置



クリアバンポン

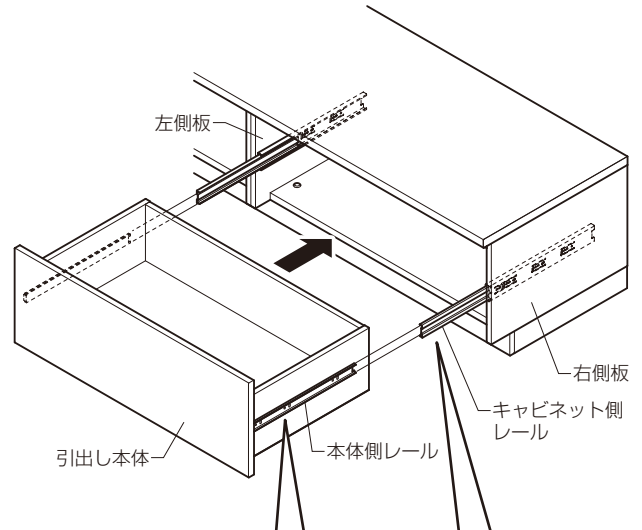


⑬引出しの取付け

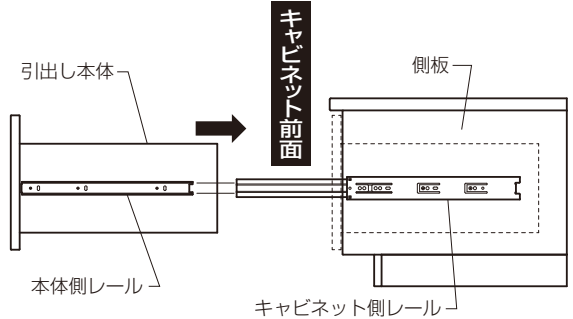
引出し取付け上のお願ひ

- 引出し本体が損傷するため、キャビネット側レールを全開にして取付けてください。
- 開閉確認のため、取付け後数回開閉をしてガタツキ等がないことを確認してください。

①引出し本体側レールをキャビネット側レールに滑り込ませます。

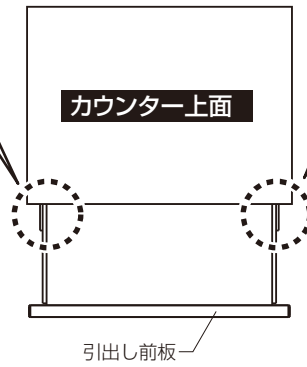
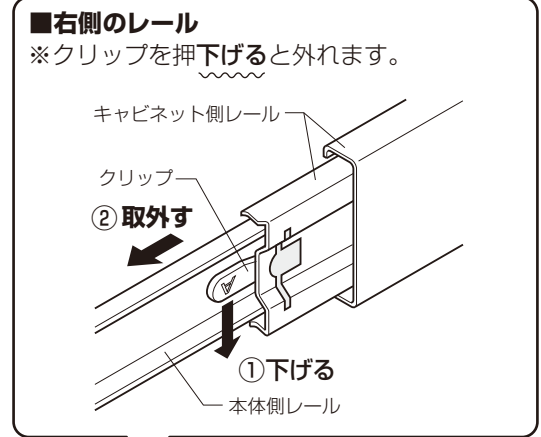
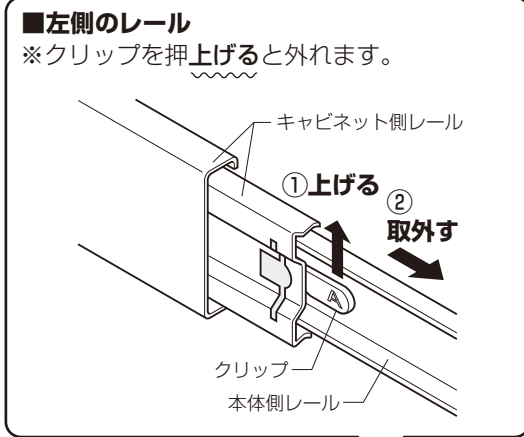


キャビネット側のレールを引出した状態で引出し本体を滑り込ませてください。



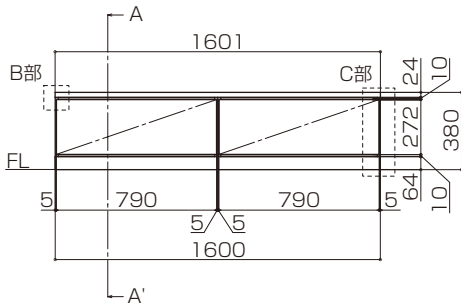
14 引出しの取外し方法

①引出し本体側レールのクリップを左右同時に操作しながら取外してください。

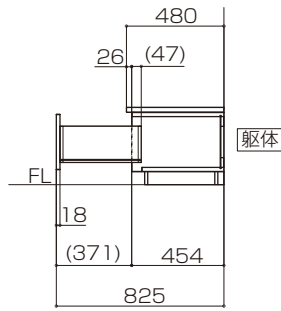


収納まり図

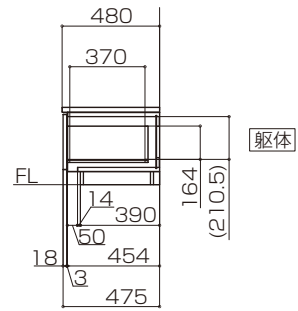
【正面図】



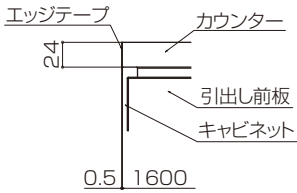
【側面図】



【A-A' 断面図】

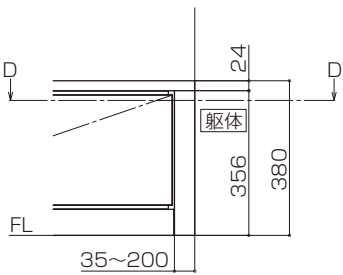


【B部詳細図】



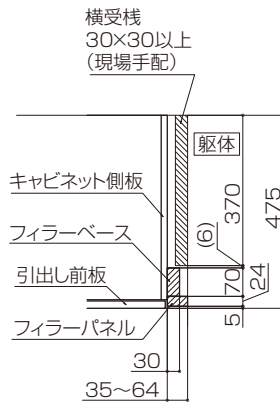
【C部詳細図】

●側面が壁に隣接する場合

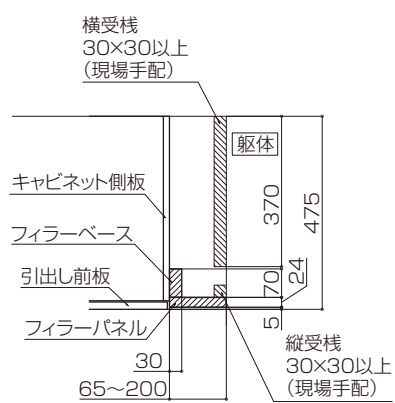


【D-D' 断面図】

●35 ~ 64mmの場合



●65 ~ 200mmの場合



MEMO

MEMO
